



交通みやぎ

交通安全協会は、交通事故“ゼロ”をめざし、限りなく歩みつけるボランティアの団体です。

2014/第183号

発行

一般社団法人 宮城県交通安全協会
(宮城県交通安全活動推進センター)
〒980-0011 仙台市青葉区上杉一丁目2番3号
☎ 022 (223) 1130
<http://www.miyagi-ankyou.or.jp>

交通事故死ゼロを目指す日／9月30日(火)

守ろう交通ルール 高めよう交通マナー

秋の交通安全県民総ぐるみ運動

平成26年9月21日(日)→9月30日(火)

運動の基本

子どもと高齢者の 交通事故防止

運動の重点

- ① 夕暮れ時と夜間の歩行中・自転車乗用中の交通事故防止(特に、反射材用品等の着用の推進および自転車前照灯の点灯の徹底)
- ② 飲酒運転の根絶
- ③ 全席シートベルトとチャイルドシートの正しい着用の徹底

<交通安全協会>会員のための特典ご案内

入院見舞金・死亡弔慰金制度

会員の皆様が、交通事故によって負傷し30日以上継続入院した場合、また発生から40日以内に死亡された場合に、当協会から見舞金・弔慰金をお渡しします。

【概要】

- 対象者／会員および個人の賛助会員の方
- 適用事故／自動車または原動機付自転車を運転し、若しくは同乗(バス・タクシーなどは除く)していた時の事故
- 事故見舞金等の額／1事故につき3万円
- 請求期限
 - ・死亡の場合:死亡日から
 - ・入院の場合:入院31日目から

3ヶ月以内となります。

万が一に備えて、安心!



交通安全協会「協賛店」制度

交通安全協会協賛店

うれしい
おトクな
特典!



交通安全協会協賛店では、交通安全協会会員証をお持ちの方に、割引サービスをはじめ各種特典を提供しています。ステッカーを貼っている「協賛店」を選んで、お得なサービスを有効に活用しましょう。

▲このステッカーが目印です。

詳しくは、各地区交通安全協会事務局へお問い合わせください。

平成26年度 定時総会の開催

平成26年度 宮城県交通安全協会定



■経常増益の部

基本財産運用収入	160,00円
会費収入	1,337,000円
受託事業収入	51,696,785円
補助金収入	401,000円
寄付金収入	1,000,000円
他会計からの繰入額	24,759,000円
事業収入	586,741,945円
雑収益	2,486,095円
経常収益 計	668,581,825円

■経常費用の部

事業費	558,771,291円
管理費	78,336,917円
他会計への繰り出し額	24,759,000円
経常費用 計	661,867,208円
当期経常増減額	6,714,617円

けやきの街路樹を揺らす風がこちよい5月30日、平成26年度定時総会が仙台市内のホテルで開催されました。

開会にあたり早川二郎宮城県交通安全協会会長が挨拶した後、今期で退任する理事・監事に、これまでの功労を讃えて表彰状が授与されました。続いて来賓祝辞として、村井嘉浩宮城県知事、安藤俊威宮城県議会議長、横内泉宮城県警察本部長のご挨拶が述べられました。さらに議長選出後、議案の審議へ移りました。

議案は、

- 平成25年度事業報告 ●平成25年度収支決算報告
- 平成27年度正会員等会費の改正(案) ●役員を選任(案)

報告事項としては、

- 平成25年度公益目的支出計画実施報告書
- 総会運営規則の制定

などが提案され、討議した結果、原案通りに可決・承認されました。

赤色TSマーク
貼ってある?

賠償
事例

自転車の
交通事故で、
高額な
損害賠償請求も
起こっています。

平成26年10月1日、赤色TSマーク付帯保険が変わります
賠償責任(保険金(限度額)) 5000万円
2000万円 → 10万円 (1500万円以内は任意です)
被害者見舞金(新設) 10万円

無灯火自転車事故で女子高生に
5,000万円の賠償命令

専務理事就任のあいさつ



宮城県交通安全協会
専務理事
阿部 英明

本年6月1日から鮫名満前専務理事の後任として就任しました阿部でございます。

どうぞよろしくお願いいたします。

一般社団法人宮城県交通安全協会は、昭和24年に創設され、半世紀にわたり交通安全活動を展開して参りました。

先達が築いた礎を前に身の引き締まる思いをしておりますが、先達のご功績に恥じないよう責務を果たして参りたいと思います。

宮城県内の交通情勢は、昨年7年ぶりに死亡事故が増加するなど、依然として厳しい状況が続いております。

特に高齢者が係わる事故が半数を超え、高齢者対策が急務となっておりますので、関係機関・団体と連携し、高齢運転者、高齢歩行者対策を進めて参ります。今後とも、県協会並びに各地区交通安全協会の活動に対し、なお一層のご支援・ご協力を賜りますようお願い申し上げます、就任の挨拶とさせていただきます。

ひたむきに頑張る姿に、大きな声援！ 全国大会では団体16位と健闘しました



なお、優勝した色麻小学校チームは、宮城県代表として8月6日(水)東京ビッグサイトで開催された全国大会へ出場しました。成績は、○団体(選手4人)で16位(47都道府県チーム中)

○個人 澁谷 真侑選手(5年生)33位(188選手中)が宮城県でトップ。入賞は果たせませんでした。地元から小学校校長や父兄が応援にかけつけ、子どもたちは声援に応えて健闘しました。

第47回交通安全子供自転車宮城県大会



7月5日(土)に、宮城県交通安全協会主催「第47回子供自転車宮城県大会」が仙台市広瀬体育館で開催されました。各地区で開催された予選を勝ち抜いてきた子供たちが元気に出場。安全ルールを守りながら自転車を上手に走らせて、頑張りました。

結果は次のとおりです。

●団体の部(10チーム参加)		●個人の部(47人参加)	
優勝 色麻小学校チーム	1位	色麻小学校 澁谷 真侑	
2位 北方小学校チーム	1位	色麻小学校 板垣 倫瑠	
3位 面瀬小学校Aチーム	3位	北方小学校 千葉日依里	
	4位	面瀬小学校 高橋 清人	
	5位	色麻小学校 早坂葉月妃	

優勝者が全国大会で活躍し、入賞！ 二輪車安全運転全国大会

第47回二輪車安全運転全国大会 表彰式



これらの優勝者は、8月2日・3日に三重県鈴鹿サーキットで開催された全国大会に、宮城県代表チームとして出場しました。その結果、○団体 7位入賞(47都道府県チーム中)

○個人 高校生等クラス・早川直也 準優勝
一般Bクラス・熊谷浩次5位
と、優秀な成績を修めました。

第44回二輪車安全運転宮城県大会



さる6月15日(日)、宮城県交通安全協会主催「第44回二輪車安全運転宮城県大会」が、県運転免許センターで開催されました。県内各地からライダーの皆さんが参加し、一般A・一般B・女性・高校生の4クラスに分かれて、安全走行や技能を競いました。

各クラスの優勝者は次のとおりです。

●一般Aクラス(250～400cc)	遠藤 宏樹(仙台南地区)
●一般Bクラス(400cc以上)	熊谷 浩次(泉地区)
●女性クラス(50cc)	佐々木 夏実(登米地区)
●高校生クラス(50cc)	早川 直也(登米地区)

第10回交通安全高齢者自転車大会

参加者募集中！

高齢者の皆さまが自転車の安全な走行につとめて頂けるよう、自転車大会を開催します。
自転車の交通ルールをもう一度確かめて、
自転車の安全な技能向上をめざします。

- と き／10月25日(土)
- と ころ／宮城広瀬体育館(仙台市青葉区上愛子)
- 参加資格／65歳以上の方
- 競技内容／1チーム3人編成で、実技を競います。

くわしくは、各地区交通安全協会へ。

運転に自信をつけるチャンス！

■運転免許センターのコース開放

運転免許センターの技能試験コースを利用して、運転技能の練習ができます。運転に自信のない方、免許を新たに取得したい方、ペーパードライバーの方など、ぜひご利用ください。

- 期間／毎月第2・第4日曜日 午前10時～午後3時(ただし、1月～3月は開放していません)
- 練習料金／1時限(50分)普通車2,000円(1日2時限まで)
- お申し込み先
宮城県交通安全協会(022-223-1130)へ

みやぎ・交通メモ

- 県内の車両保有台数(平成26年 5月末現在)
1,666,689台(原付は含みません)
- 県内の運転免許人口(平成26年 8月末現在)
1,527,419人(男性 847,755人・女性 679,664人)
- 県内の交通事故(平成26年 8月末現在)
 - 人身事故 5,682件(～560件)
 - 死者数 50人(～4人)
 - 負傷者数 7,504人(～758人)

※()は前年同期対比です。件数、負傷者数は概数です。

交通安全運動 各地区協会の活動レポート

わたしたちの地区協会では、こんな活動を実施しました。

あなたの会費で、充実した交通安全活動が展開されています。

南三陸地区



オクトパス君(南三陸復興ダコの会)も参加し、幹線道路における「交通安全広報日」の街頭キャンペーン。

玉造地区



駐在所員の応援を得て、カーブミラーの点検、清掃を行う支部会員。

黒川地区



「交通死亡事故ゼロを目指す日」キャンペーンで、大型スーパーの来店客に交通安全グッズを配布し、事故防止を呼びかける。

泉地区



区民祭で、「交通安全音頭」を披露し、交通事故防止を訴える。

仙台北地区



安全協会女性部による「知っておきたい自転車のいろいろ」を実施し、高齢者の事故防止を図る。

仙台南地区



地元「大野田交通少年団」と合同による交通事故防止街頭キャンペーン。

名取地区



岩沼復興夏祭りにおいて「交通安全協会コーナー」を設け、多くの市民に交通事故防止の広報を行う。

亘理地区



地元亘理高等学校と連携した「交通安全フラワー作戦」の展開。

角田地区



新入学児童に対する「交通安全黄色い帽子」の贈呈。

河北地区



シートベルト着用、飲酒運転根絶の広報活動として交通安全啓発物「復活わかめ」を配布。

築館地区



ワンちゃん(交通安全犬)も参加し、「交通事故防止盛夏街頭キャンペーン」をくり広げる。

加美地区



交通安全母の会と協力して「交通安全盛夏キャンペーン」を実施し、帰省のドライバーなどに夏の事故防止を呼びかける

交通安全活動の写真をお寄せください。

各地区で実施された、交通安全活動中のスナップ写真やユニークな交通安全広報グッズの写真など、事務局までお送りください。

